

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学
経営協議会（平成24年度第1回）議事要旨

1. 日 時 平成24年6月21日（木）14:45～16:20
2. 場 所 奈良先端科学技術大学院大学 事務局3階 会議室
3. 出席者 磯貝議長
村井、新名、高比良、松本、北出の各学内委員
井上、佐々木、志村、宮脇、CASSIM、矢嶋の各学外委員
欠席者 畚野、片岡の各学内委員
石井、小出の各学外委員
出席監事 二宮監事
陪席者 堀江教育研究支援部長
奥田、竹下、桐山、森川、林田、成相、末廣の各課長
4. 配付資料
資料1 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学経営協議会（平成23年度第5回）議事要旨（案）
資料2-1 平成23事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）の概要について
資料2-2 平成23事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）
資料2-3 平成23年度年度計画の実施状況について
資料3-1 平成23事業年度財務諸表（案）
資料3-2 平成23事業年度奈良先端科学技術大学院大学の決算について
資料4 平成25年度概算要求の概要
資料5-1 「国家公務員の給与の改定及び臨時特例法に関する法律」への対応及び関連学内諸規程の一部改正について
資料5-2 単身赴任手当支給期間の上限の撤廃及び学内関連諸規程の一部改正について
資料5-3 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学職員の給与の臨時特例に関する規程（案）
資料5-4 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学職員給与規程（新旧対照表）
資料6 平成24年度国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学運営体制
資料7 本学の主な動きについて（平成24年3月21日（水）～平成24年6月20日（水））
資料8 国立大学法人における会計監査人の選任について（通知）
資料9 平成24年度外部資金の受入れについて
資料10 平成24年度科研費（新規採択分）の交付内定状況について
参考資料 大学改革実行プラン～社会の変革のエンジンとなる大学づくり～
参考資料 奈良先端大の概要と特色

議事に先立ち、高比良委員の自己紹介が行われた。

5. 議 事

（前回議事要旨の確認）

資料1の前回（平成23年度第5回）の議事要旨（案）について、原案どおり承認された。

(審議事項)

(1) 平成23事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

村井委員から、資料2-1～3に基づき、平成23事業年度に係る業務の実績に関する報告書について説明が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。なお、今後の加除・修正等については学長に一任することとし、資料2-2（「平成23事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）」）については、役員会への附議を経て、6月末に文部科学省国立大学法人評価委員会へ提出することが確認された。

(主な意見は、次のとおり)

- ・広報活動については、広報誌「せんたん」の発行など積極的に取り組んでいることは評価できる。
- ・年度計画の達成状況に関する判断基準は、他大学との差別化を図りつつ、質的な側面で評価に耐え得るものかどうかという観点が重要である。

(2) 平成23年度決算について

高比良委員から、資料3-1～2に基づき、平成23年度決算について説明が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。なお、今後は、役員会への附議を経て、6月末までに文部科学省へ提出することが確認された。

(3) 平成25年度概算要求事項について

高比良委員から、資料4に基づき、平成25年度概算要求事項について説明が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。なお、今後の加除・修正等については学長に一任することとし、役員会への附議を経て、平成24年7月4日までに文部科学省へ提出することが確認された。

(4) 「国家公務員の給与の改定及び臨時特例法に関する法律」への対応等及び関連学内諸規程の一部改正について

高比良委員から、資料5-1～4に基づき、「国家公務員の給与の改定及び臨時特例法に関する法律」の制定に伴う対応等及び関連学内諸規程の制定・一部改正について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(報告事項)

(1) 平成24年度運営体制について

議長から、資料6に基づき、平成24年度運営体制について報告が行われた。

(2) 本学の主な動きについて（平成24年3月21日～平成24年6月20日）

議長から、資料7に基づき、平成24年3月21日から平成24年6月20日に行われた本学の活動状況等について報告が行われた。

(3) 平成24事業年度会計監査人の選任について

高比良委員から、資料8に基づき、本学の会計監査人として有限責任あずさ監査法人が選任された旨の報告が行われた。

(4) 平成24年度外部資金の受入れ状況について

新名委員から、資料9に基づき、平成24年度外部資金の受入れ状況について報告が行われた。

(5) 平成24年度科学研究費補助金の交付内定状況について

新名委員から、資料10に基づき、平成24年度科学研究費補助金の交付内定状況について報告が行われた。

(情報交換・意見交換)

机上資料「大学改革実行プラン～社会の変革のエンジンとなる大学づくり～」に基づき、文部科学省が示した「大学改革実行プラン」について、意見交換及び情報交換が行われた。

(主な意見は、次のとおり)

- ・アメリカのロックフェラー大学やスウェーデンのカロリンスカ研究所のような大学院大学が、研究の最先端を牽引しており、日本においても、リサーチ・ユニバーシティを明確に打ち出していくべきである。
- ・リサーチ・ユニバーシティに中身が伴っているのかが疑問である。例えば、ハーバード大学とMITの間でさえ、分野の棲み分けを積極的に行っている。秋入学を導入すれば必ずしもグローバル化が促進されるわけではなく、日本の大学は、限られた資源の中でどの分野を強化するのか等について踏み込んで考える必要がある。奈良先端大は、すでにしっかり取り組んでいる大学である。
- ・大学は社会の中で大きな役割を期待されており、国立大学の垣根を越えた施策を構築するためには、私立大学から学ぶべきことを整理しておく必要がある。また、今後大学の統合・再編の話が出てくるであろうから、大学間連携に対してどういう対処をするのかをきちんと議論しておく必要がある。

以上